

no.

22号

'17

# 芸術学研究

## Tsukuba Studies in Art and Design

筑波大学大学院人間総合科学研究科

Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba

2017年

### 横組目次

#### ◆論文

- 1 漫画に描かれたイメージからみる東京タワーの眺望点に関する提案  
大竹由夏
- 11 社会の多様な現場でのコミュニケーションを伴う造形表現活動の展開  
小中大地
- 21 福田豊四郎の作品にみる動物の動きの表現について  
澤田麻実
- 31 レンブラント・ファン・レイン作《マルハレータ・デ・ヘール》の白絵具(鉛白)に使用されたメディウムについて  
菅澤 薫
- 41 日本画における銀箔の特徴とその変色がもたらす効果について  
當銘弓佳
- 51 菊畑茂久馬〈春風〉〈春の唄〉シリーズについての一考察  
松井千夏
- 61 シュタイナー学校における手作業科の意味  
吉田奈穂子



# 目 次

## 論文

漫画に描かれたイメージからみる東京タワーの眺望点に関する提案 .....	大竹 由夏 ..... 1
社会の多様な現場でのコミュニケーションを伴う造形表現活動の展開 ゴブリンプロジェクトのコミュニケーション関連要件による分析 .....	小中 大地 ..... 11
福田豊四郎の作品にみる動物の動きの表現について .....	澤田 麻実 ..... 21
レンブラント・ファン・レイン作《マルハレータ・デ・ヘール》の 白絵具（鉛白）に使用されたメディウムについて リンシードオイルの加工法を中心に .....	菅澤 薫 ..... 31
日本画における銀箔の特徴とその変色をもたらす効果について .....	當銘 弓佳 ..... 41
菊畑茂久馬〈春風〉〈春の唄〉シリーズについての一考察 .....	松井 千夏 ..... 51
シュタイナー学校における手作業科の意味 ニュルンベルク・シュタイナー学校の実践に着目して .....	吉田奈穂子 ..... 61

# CONTENTS

## Research Paper

A Proposal for Preserving Viewing Points of the Tokyo Tower Based on Images Depicted in Manga Works .....	OTAKE Yuka	1
Developing Formative Art Activities with Communication at Diverse Society Sites: Analysis of the Goblin Project by the Communication Requirements .....	KONAKA Daichi	11
Expression of Movement of Animals in Works by Fukuda Toyoshiro .....	SAWADA Mami	21
A Study of the Binding Medium Used for White Paint(Lead White) in Rembrandt van Rijn's work "Portrait of Margaretha de Geer" Centered on the linseed oil processing method .....	SUGASAWA Kaoru	31
On the Characteristics of Silver Foil and the Effects of its Discoloration in Japanese-Style Paintings .....	TOME Yumika	41
A Study on Mokuma Kikuhata's "Spring Breeze " "A Song for Spring" Series .....	MATSUI Chinatsu	51
The Meaning of "Handwerk" Class in the Steiner Schools Focusing on the Practices at the Steiner School in Nuremberg .....	YOSHIDA Nahoko	61

## 『芸術学研究』投稿規定

平成22年6月16日芸術専攻教員会議承認

平成28年10月19日芸術専攻教育会議改訂

1. 『芸術学研究』（以下「本誌」）は筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程芸術専攻の発行する学術研究誌であり、同専攻在学生、同専攻の教員、同専攻に在籍していた修了生および退学者が投稿できるものとする。共著の場合、これらの者が筆頭となる論文のみを受け付ける。
2. 本誌は、原則として一年に2回原稿募集を行い、年1回刊行する。原稿募集の度に外部査読者を含む査読委員による厳正な審査を経て掲載の可否を決定する。同一号に同一者を筆頭として掲載できる論文は一編のみとする。
3. 在学生は指導教員の指導を受けて執筆・投稿すること。
4. 独立・完結した論文とし、連載は認めない。
5. 内容は芸術学・デザイン学の諸分野に関する論文とする。
6. 文字原稿の分量は本文・注を合わせて16,000字以内とする。頁数は題目・要旨・本文・注・図版・表等をすべて含めた全体で10頁以内に収めること。
7. 使用言語は、原則として日本語あるいは英語とし、題目と要旨については和文・英文の両方を記載すること。英文は事前に必ずネイティブ・チェックを受けること。なお、不完全の場合は受理しないことがある。英文で本文を執筆する場合は、題目と要旨の和文について日本語のネイティブ・チェックを受けること。
8. 文章は固有名詞、引用文を除き、常用漢字・現代仮名遣いに準拠すること。
9. 提出原稿はワープロ、パソコン仕様とし、日本語論文の書式は別に定める『芸術学研究』の原稿の書式に従うこと。英語論文の書式は「Chicago Style」か「APA Style」のいずれかとする。ただし注や引用文献の形式は各自の属する専門分野の学会誌の形式を使用してもよい。その際は、投稿時に当該学会誌の投稿規程のコピーを示すこと。
10. 原稿は図・表も含め、完全版下原稿で提出することとし、査読による修正要求に応える以外は、校正段階での訂正・変更を認めない。
11. 図版・表の特別な使用を希望する場合は、予め申し出ること。紙媒体にはカラー図版を認めないが、ウェブサイトに掲載する原稿にはカラー図版を認める。
12. 図版等の使用について必要な場合は、投稿者において著作権に関する措置を講じること。
13. 原稿提出は、論文編集委員会が定める日時に指定の場所に持参するものとする。指定日時を過ぎたもの、規定に従わない原稿は受理しない。
14. 原稿提出日には、プリントアウトした原稿を3部（コピー可）提出する。
15. 査読の結果、掲載が決定した原稿については、別途指示に従い、プリントアウト1部および原稿データの入ったCD-RやUSBメモリなど記録媒体（氏名・OS・ソフト名を添付）を提出する。
16. 投稿者は、本誌に掲載された論文について、ウェブサイト公開のために、複製または公衆送信（送信可能化も含む）その他一切の利用を芸術専攻及び筑波大学附属図書館が行うことを、無償で、地域または期間の限定なく、許諾することとする。

## 芸術学研究第22号

---

発行日 2017年12月

発行 筑波大学大学院人間総合科学研究科  
博士後期課程芸術専攻  
〒305-8574 茨城県つくば市天王台1-1-1

編集 芸術学研究 編集委員会：石崎和宏、長田年弘、菅野智明、山本早里

表紙 レイアウトフォーマットデザイン 西川 潔 山本政幸

印刷 株式会社イセブ

---

no. 22 号

'17



# 芸術学研究

Tsukuba Studies in Art and Design

筑波大学大学院人間総合科学研究科  
Graduate School of Comprehensive Human Sciences, University of Tsukuba